

東京都初の試みとなるデジタルクリエイティブの新たな創造拠点 シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] 渋谷にオープン

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、デジタルテクノロジーの活用を通じて、人々の創造性を社会に発揮するための活動拠点「シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]」を、10月23日（日）に渋谷に開設いたしました。

世界のアートシーンでは、デジタルテクノロジーの活用が表現の可能性を広げています。CCBTは、アート&テクノロジーを原動力として、イノベーションを生み出し、東京を世界から選ばれる文化都市へと進化させます。

CCBTは、ラボやスタジオ等のスペースを備え、4つのコアプログラム [CCBT Meetup] [アート×テックラボ] [アート・インキュベーション] [未来提案型キャンプ] を中心に、アート、テクノロジー、デザインをテーマに様々なプログラムを開催していきます。アーティストやクリエイターをはじめ、あらゆる人々が創造性「シビック・クリエイティブ」を発揮するためのきっかけを生み出していきます。



施設概要

**CIVIC
CREATIVE
BASE
TOKYO**
シビック・クリエイティブ・ベース東京

シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

場所：東京都渋谷区宇田川町3-1 渋谷東武ホテル地下2階

時間：13:00~19:00 電話：03-5458-2700

<https://ccbt.rekibun.or.jp/>

主 催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団



本プレスリリースに掲載の画像は、<https://tayori.com/f/civiccreative/> からダウンロードできます。

※内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお申し上げます。

【お問い合わせ先】「シビック・クリエイティブ・ベース東京」広報事務局（共同ピーアール株式会社内）

Tel: 03-6264-2039 Fax: 050-3737-6661

Email: civiccreative-pr@kyodo-pr.co.jp

1. シビック・クリエイティブ・ベース東京【CCBT】とは

シビック・クリエイティブ・ベース東京【CCBT】は、デジタルテクノロジーの活用を通じて、人々の創造性を社会に発揮する（シビック・クリエイティブ）ための創造拠点です。「発見・共創・開発・連携」の4つのミッションに基づき、東京からイノベーションを生み出していく原動力となっていきます。

開設の背景

世界から選ばれる文化都市を目指して

東京都では「未来の東京戦略」を策定し、50年、100年先も豊かさにあふれる持続可能な都市としていくため、戦略の1つとして「文化・エンターテインメント都市戦略」を掲げています。

世界のアートシーンでは、デジタルテクノロジーが表現の可能性を飛躍的に広げており、芸術文化の領域でデジタルを活用することで、東京を、「楽しさ」と「革新」を生み続ける、世界から選ばれる都市へと進化させていきます。

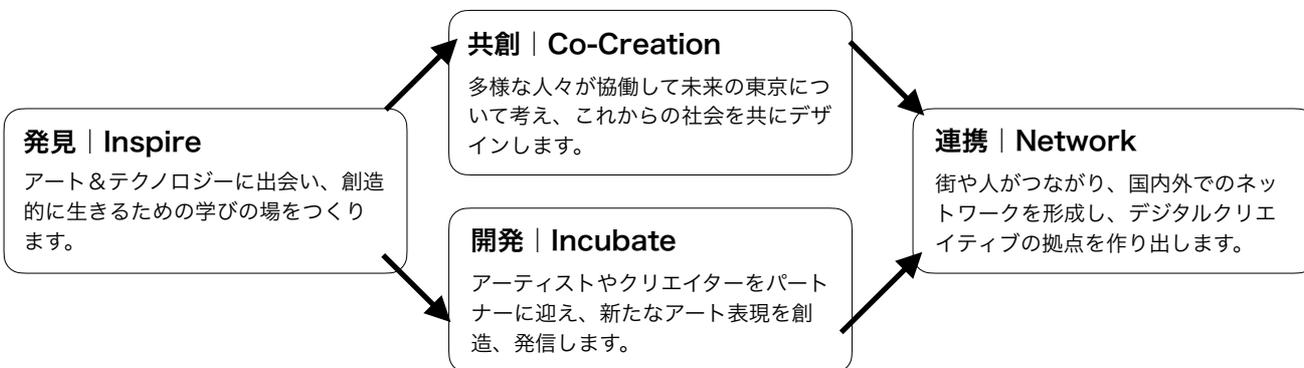


芸術文化とデジタルテクノロジーの交差点

東京には、多数の企業や大学、研究機関が集積し、幅広い領域の事業が展開しており、多くの可能性が潜在しています。CCBTは、東京に集積する多様なヒト・モノ・コトを交差させることで、東京にイノベーションを生み出していくプラットフォームとして機能することを目指しています。



CCBTのミッション



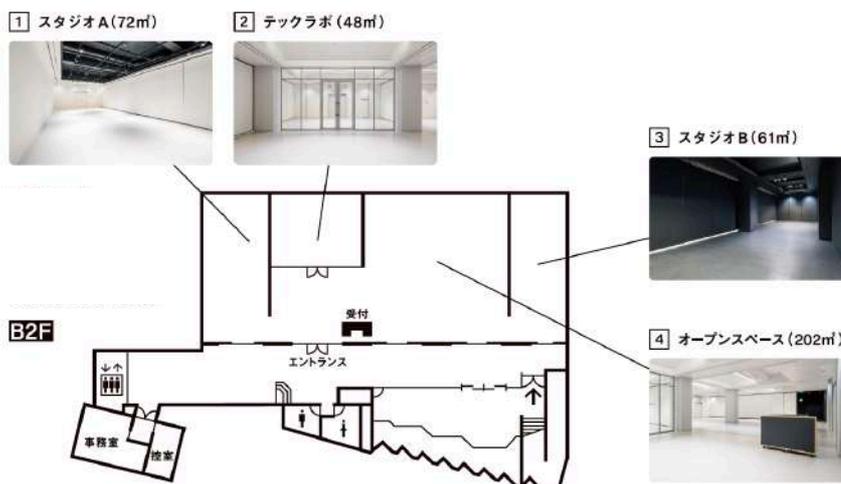
施設概要

CCBTの各スペースは稼働壁で仕切られているため、利用の目的に合わせてフレキシブルに空間を設定することができます。

スタジオでの作品展示、テックラボにおける創作活動やワークショップ、オープンスペースでのレクチャーなど多様なプログラム展開に対応します。

施設：約380平米

- スタジオA
- スタジオB
- オープン・スペース
- テックラボ



2. CCBTでスタートするコアプログラム

CCBTは、アート、テクノロジー、デザインをテーマにした様々なプログラムを通じ、参加する人々すべてが創造性を発揮する、広く開かれたプラットフォームを目指します。コアプログラムを中心に、アーティストやクリエイターはもちろんのこと、あらゆる人々が創造性を発揮するためのきっかけとなっていきます。

コアプログラム

CCBT Meetup

アート、テクノロジー、デザインの多様なトピックを学ぶトークイベントやレクチャー、コミュニティ形成



アート×テックラボ

デジタルファブリケーション機器を活用し、アート&テクノロジーを実践的に学ぶワークショップ



アート・インキュベーション

CCBTのパートナーとなるアーティストの企画を公募する、国内最大規模のアーティスト・フェロー制度



未来提案型キャンプ

アーティストやエンジニア、研究者、市民が、アート&テクノロジーを学び、社会課題に取り組むキャンプ



3. 11月のピックアップ・プログラム

※スタジオAでの開催時間は、施設の開館時間、休館日に準ずる



CCBTプレゼンテーション展示

2022年10月23日(日)～11月20日(日) 会場：CCBT スタジオA

CCBTの活動趣旨、アーティスト・フェローの活動を紹介するプレゼンテーション展示を実施。施設内の見学とあわせてご覧いただけます。



CCBTオープニング記念「アート×テックラボ」第1弾

明和電機 渋谷工場 in CCBT

2022年11月26日(土)～12月25日(日) 会場：CCBT スタジオA、テックラボ

- ・公開制作・展示：11月26日(土)～12月25日(日)
- ・ライブ/ワークショップ：11月26日(土)・27日(日) / 12月24日(土)・25日(日)

オープニングを記念し、アートユニット・明和電機をゲストに迎え、アートの発想力とテクノロジーによるものづくりの創意工夫とおもしろさを紹介する特別企画。

CCBTが明和電機の工場となり、テックラボでの公開制作やワークショップ、さらに、その創作過程をスケッチや試作品、完成品のプロダクトで展示します。

明和電機・土佐社長からのメッセージ

「CCBTってなに？」・・・いまだに僕の頭の中にあるこの疑問。説明を読むと「メディアアートやデジタルクリエイティブの創造拠点」らしい。メディアアート？デジタルクリエイティブ？・・・むしろ楽しい！よくわからん！たぶんアート&テクノロジーで、なんか新しいものを作りだすところなんだろう。よし、ならば明和電機のやってみることを全部ぶつけてみます。今回は会場内に明和電機の工場を再現してオモチャの開発と量産を行います！渋谷のど真ん中で工場やっていいのかわからんけど！会期中にライブコンサートもやります！騒音がかなり出ると思うけど！とにかくCCBTのポテンシャルを探るために、いろいろ無茶やりますのでどうぞよろしくをお願いします。



撮影：佐藤基

CCBT Meetup 001

未来の運動会だれでもミートアップ

興味ある人CCBTでゆるくお話ししてみよう会

2022年11月5日(土) 15:00～18:00 会場：CCBT オープンスペース

大盛況で終了したCCBTオープニングイベント「未来の東京の運動会」。CCBTアーティスト・フェローとして企画ディレクションを行った犬飼博士とデベロップレイヤーたちとのミートアップイベントを開催。あの運動会はなんだったのか？近所でも未来の運動会できないかな？みんなで次の「未来の運動会」のアイデアをつくります。

4. アート・インキュベーション・プログラムでは5組のクリエイターが活動中

CCBTでは、アート・インキュベーション・プログラムとして、アーティスト・フェローの取り組みを開始しました。本プログラムでは、選出された企画を具体化し、都内で発表するほか、ワークショップやレクチャー等の講師を行います。また、本プログラムでは、企画内容の実現に向け、制作費として1000万円を上限にサポートします。さらに、制作スペース及び機材の提供や、テクニカルサポート、メンターをはじめとした様々な専門家からのアドバイスなどを通じ、デジタルクリエイティブの社会への実装を目指していきます。

Tomo Kihara + Playfool 「Deviation Game」

人間には認識できるが、AIには認識できないモチーフを描くゲームを通して、AIによる世界の認識の仕方を遊びながら探究していくプロジェクト。AIが人間の創作物を容易に模倣できるようになった今、本企画では、アラン・チューリングが1950年に提唱したイミテーションゲームを参照しながらも、過去の模倣ではなく過去からの逸脱（Deviation）をAIと共に目指すワークショップや展示を展開する。

写真左から：木原共、Playfool



Tomo Kihara + Playfool

木原共とPlayfool（コッペン・ダニエル、コッペン・サキ）との協働チーム。ともに「遊び」をコアのテーマに、創造性を育む道具のデザインや社会や都市に介入するアート・プロジェクトを国内外で展開している。ヴィクトリア&アルバート博物館（ロンドン、2022）やアルスエレクトロニカ（リンツ、2020）などで展示。

企画イメージ



浅見和彦+ゴッドスコピーオン+吉田山「街を舞台にしたAR展覧会」

渋谷の街なかで繰り広げるAR等のバーチャル技術を用いた作品展示と、インフォメーションセンターを兼ねたフィジカル展示の2つの形式で実施するプロジェクト。バーチャル上で展示される国内外の作家による作品のガイドツアーを行ったり、CCBTを拠点とした市民参加型のワークショップ等も開催予定。

写真左から：浅見和彦、ゴッドスコピーオン、吉田山



浅見和彦+ゴッドスコピーオン+吉田山

メディアアーティストのゴッドスコピーオンとキュレーターの吉田山、XRの企画プロデュースを行う浅見和彦の3名がプロジェクトチームを編成。VR/AR空間の作成プラットフォームSTYLYの技術を活用する。

企画イメージ



SIDE CORE 「rode work 2022-2023 ver.Tokyo」

「rode work」は震災復興や都市開発など、風景の変革をスケートボードの視点で切り取ることをテーマにした映像作品シリーズ。このプロジェクトは2017年より継続して展開されており、本企画ではオリンピック以降の東京、そしてコロナ禍における都市の風景にフォーカスを当てた新作を発表する。公共の野外空間を想定し、CCBTを拠点に新たな発表形態での展示を予定。



SIDE CORE

2012年より活動開始。メンバーは高須映恵、松下徹、西広太志。映像ディレクターとして播本和宜が参加。ストリートカルチャーの視点から公共空間を舞台にしたプロジェクトを展開しており、作品制作や展覧会の企画を通じ、新しい風景の見え方・在り方を発見することを目的とする。

企画イメージ



犬飼博士とデベロッパーたち「未来の東京の運動会」

ゲームクリエイターでeスポーツプロデューサーの犬飼博士が2014年から開始したスポーツアート共創。これまでの事業を通じて育ったデベロッパーたちが集い、オープニングイベント「未来の東京の運動会」を開催。これまでに、子供たちがルール作りを学び、運動会の競技をつくるワークショップを1回、さらにデジタル機器を用いた競技ツールをつくる大人向けのワークショップを3回、さらに運動会ハッカソンも実施。10月23日には、CCBTのオープニングを記念し、参加者みんなで「未来の東京の運動会」を作り上げる。

企画ディレクター：犬飼博士（eスポーツプロデューサー、ゲーム監督、運策家）

撮影：佐藤基

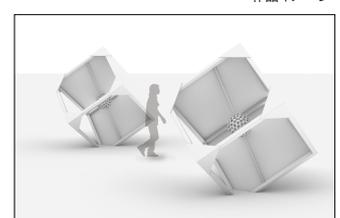


野老朝雄、平本知樹、井口皓太「FORMING SPHERES」

東京2020オリンピック競技大会の開会式では、ドローンにより球体の組市松文様が空中に表現された。本プロジェクトは、菱形三十面体から生成した百二十面体の各面に長方形を嵌めることで表現されたこの球体を、新たにインスタレーションとして再構築するもの。

本プロジェクトでは、開会式のドローン演出を手がけたメンバーで、大会シンボルマークをデザインした野老朝雄、デジタル・ファブリケーションの技術を使って廃プラスチックを材料として表彰台を制作した平本知樹、そして「動くスポーツピクトグラム」をデザインした井口皓太が協働。変化に富んだ映像を生み出すインスタレーションを発表する（2023年2月開催の第15回恵比寿映像祭で発表予定）。

作品イメージ



5. オープニングに伴い、様々なイベント／コンテンツを公開

10月23日（日）にCCBTのオープニングセレモニーとオープニングイベント「未来の東京の運動会」を開催しました。セレモニーには、小池知事がクリエイティブチームの一員として制作に参加したアバターが登場したほか、未来の東京の運動会と中継を結び、それぞれのオープニングを盛り上げました。

オープニングセレモニーには、「小池知事アバター」が登場

小池知事の実際の動きと声を収録し、3DCGキャラクターのモーションで再現した「小池知事アバター」が、オープニングセレモニーに登壇しました。「小池知事アバター」は、CCBTのオープニング挨拶のほか、フォトセッションにも参加しました。



オープニングイベント「未来の東京の運動会」には約100名が参加

アーティスト・フェローとして活動中の「犬飼博士とデベロッパーたち」と参加者が、5回にわたるワークショップやハッカソン、そしてオンラインコミュニティで交流し、競技のルールとツールを製作。延べ約100名が参加。みんなで作り上げた「未来の東京の運動会」をCCBT近隣の渋谷区・神南小学校にて開催し、デジタル技術を活用した新しい競技をプレイしました。

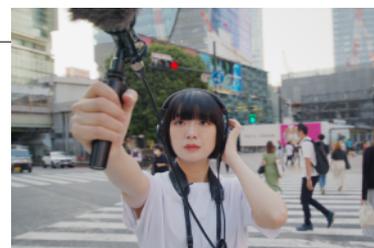


撮影：佐藤基

コンセプトムービーを公開

CCBTで制作活動を行うクリエイターの様子を描いたコンセプトムービーをYouTubeにて公開しました。本映像には、工事中のCCBTの様子も登場。ユースカルチャーを代表して、フィンガーダンスで注目を集めるダンサー・振付家のChaso（櫻井香純）がメインキャストを務めています。

<https://youtu.be/N6Tp26BWJ9I>



アクセス/時間

東京都初の試みとなる、デジタルクリエイティブを専門とする創造拠点

CIVIC CREATIVE BASE TOKYO

シビック・クリエイティブ・ベース東京

場所：渋谷東武ホテル地下2階（東京都渋谷区宇田川町3-1）

※渋谷駅B1出口より徒歩7分、ハチ公改札口より徒歩8分

休館日：月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始

※そのほか、保守期間等の休館あり

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団

公式サイト

<https://ccbt.rekibun.or.jp/>

